

# 日本科学哲学会

## 第56回(2023年)大会

期日：12月2日(土)・3日(日)

場所：筑波大学 筑波キャンパス 春日エリア

大会参加費：1,000円(非会員の方でもご参加いただけます)  
所在地：〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2

### 12月2日(土)

#### 研究発表(9:30-12:00)

##### 《A会場(7A104講義室)》(9:30-12:00)

司会：1-3 松阪 陽一(東京都立大学)、4-5 山田 圭一(千葉大学)

- 高谷 遼平(東京大学・日本学術振興会)・・・意味論の「外延化」は何をもたらすのか
- 鈴木 聡(駒澤大学)・・・Additively-Semiorordered-Qualitative-Conditional-Probability-Theoretic Foundations of Logic of Inexact Knowledge
- 明日 誠一(青山学院大学)・・・Scylla no more exists than does the Chimera. —「クジラの公式」の起源を 'ou mallon' から読み解く—
- 溝越 大泰(大阪大学)・・・『哲学探究』における言語の「正常な場合」をあぶり出す
- 丸田 健(奈良大学)・・・『哲学探究』第四版はどこまで新たな規範となりうるか

##### 《B会場(7A105講義室)》(9:30-12:00)

司会：1-3 田中 泉史(慶應義塾大学)、4-5 北島 雄一郎(日本大学)

- 下川 弘晃(北海道大学)・・・今そこにある未知の代替理論(Unconceived Alternatives) —実践的な過渡的決定不全性と価値論—
- 吉井 達哉(京都大学)・・・誤謬統計と推論主義：メイヨー・ミーツ・ブランダム
- 川本 裕輔(産業技術総合研究所)・佐藤 哲也(東京工業大学)・末永 幸平(京都大学)・・・統計の適切さを記述し検証するためのプログラム論理
- 中塚 海渡(大阪大学)・・・確率過程量子化における実在性の考察
- 白井 仁人(一関工業高等専門学校)・・・量子力学と自由意志：認識の相対性からの分析

##### 《C会場(7A106講義室)》(10:00-12:00)

司会：1-2 植原 亮(関西大学)、3-4 柏端 達也(慶應義塾大学)

- 清水 颯(北海道大学)・・・カントの徳論はロボットの道徳的地位を擁護できるか
- 坂本 美理(東京大学)・・・「子どもを生みだした責任」とは何か：子どもの生に対する道徳的責任の根拠の因果説
- 吉澤 日英美(北海道大学)・・・滑り坂論法の基本的な論証スキーマの分析
- 榊原 英輔(東京大学)・・・推意の見落としと推意的不正義 —医師—患者関係における検討

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:05-13:30)《委員会会場(7A203講義室)》

総会(石本賞授与式)(13:35-14:15)《春日講堂》

#### シンポジウム(14:20-16:50)《春日講堂》

共催：「ヒト脳改変の未来に向けた実験倫理的 ELSI 研究方法論の開発」(JPMJRS22J4)(代表者：太田 紘史)

##### 「意識の未来の倫理学」

オーガナイザー：太田 紘史(新潟大学)

提題者：渡邊 正峰(東京大学)、澤井 努(広島大学)、太田 紘史(新潟大学)

司会：中澤 栄輔(東京大学)

#### 特別講演(16:55-17:55)《春日講堂》

##### 「対話空間としての北ヨーロッパの公共図書館」

講演者：吉田 右子(筑波大学)

司会：伊勢田 哲治(京都大学)

#### 情報交換会(懇親会)(18:00-19:00)《春日講堂ラウンジ》

懇親会参加費：なし

### 12月3日(日)

#### 研究発表(10:00-12:00)

##### 《A会場(7A104講義室)》(10:00-12:00)

司会：1-2 鈴木 生郎(日本大学)、3-4 秋葉 剛史(千葉大学)

- 佐金 武(大阪公立大学)・・・時間がすぎると感じるについて
- 梅原 温史(千葉大学)・・・シンレッドラインの存在は「未来は開いている」という直観と両立可能か
- 坪井 祥吾(一橋大学)・・・グラウンディングの選択性
- 坂口 恭久(放送大学)・・・決定論と予言可能性について

##### 《B会場(7A105講義室)》(10:00-12:00)

司会：1-2 太田 紘史(新潟大学)、3-4 久木田 水生(名古屋大学)

- 池原 優斗(北海道大学)・・・マイクロ現象学的インタビューの文化人類学的フィールドワークへの応用についての試論
- 清水 右郷(京都大学・日本学術振興会)・・・症例対照研究が用いるべき尺度について
- 大塚 淳(京都大学)・・・深層学習後の科学を考える
- 車田 研一(福島工業高等専門学校)・・・機器計測における<リアル感>と<経験的十全性>のあいだの相剋

#### 《C会場（7A106 講義室）》(10:00-12:00)

司会：1-2 西條 玲奈（東京電気大学）、3-4 新川 拓哉（神戸大学）

1. 平田 一郎（関西外国語大学）・・・ホワイトヘッドにおける組み合わせ問題
2. 村山 正碩（一橋大学）・・・原始的内観とその環境資源としての芸術
3. 岡部 幹伸（慶應義塾大学）・・・知覚は個物を含むのか
4. 薄井 尚樹（関西大学）・・・潜在的態度の気づきは自己のありようについてなにを語るのか

#### 理事会・編集委員会・大会実行委員会（12:05-13:05）《委員会会場（7A203 講義室）》

#### ワークショップ（13:10-15:25）

##### 《A会場（7A104 講義室）》(13:10-15:25)

###### I. 「AI × 実験哲学の可能性」

オーガナイザー：稲荷森 輝一（北海道大学）

提題者：稲荷森 輝一（北海道大学）、晴木 祐助（北海道大学）、竹下 昌志（北海道大学）、  
久木田 水生（名古屋大学）

##### 《B会場（7A105 講義室）》(13:10-15:25)

###### II. 「連続体の謎—実数の理解に対する数学的及び哲学的再考」

オーガナイザー：菊池 誠（神戸大学）

提題者：藤田 博司（愛媛大学）、黒川 英徳（金沢大学）、池田 真治（富山大学）

##### 《C会場（7A106 講義室）》(13:10-15:25)

###### III. 「科学モデル論は何を目指せばよいのか」

オーガナイザー：松王 政浩（北海道大学）

提題者：松王 政浩（北海道大学）、島谷 健一郎（統計数理研究所）、尾崎 有紀（北海道大学）、  
高橋 和孝（北海道大学）

#### 研究発表（15:30-18:00）

##### 《A会場（7A104 講義室）》(15:30-18:00)

司会：1-3 網谷 祐一（会津大学）、4-5 二瓶 真理子（岩手大学）

1. 飯川 遥（無所属）・佐々木 豪（無所属）・・・自然種名に関する時間外在主義的記述説：因果・歴史説を乗り越える
2. 中条 太聖（京都大学・日本学術振興会）・・・生成文法におけるデータ・モデル・理論
3. 石田 知子（富山県立大学）・・・生物学における無知を分析する
4. 谷川 綜太郎（千葉大学）・・・理解の価値と圧縮について
5. 山下 智弘（慶應義塾大学）・・・絶対的知識と静寂主義

#### 《B会場（7A105 講義室）》(15:30-18:00)

司会：1-2 村上 祐子（立教大学）、3-5 藤川 直也（東京大学）

1. 井上 朋彦（名古屋大学）・・・ヒルベルト初期数学の基礎研究の無矛盾性証明構想 —「無理数論の既知の推論方法」とは何か—
2. 高橋 優太（お茶の水女子大学）・・・Martin-Löf 型理論におけるマロー宇宙がもつ非可述性
3. 豊岡 正庸（北海道大学・日本学術振興会）・・・ベース状況付きの弱下位直観主義論理に対する近傍意味論
4. 畑中 直之（神戸大学）・・・三部推件計算と「他の可能性からの批判」
5. 竹内 泉（産業技術総合研究所）・・・論理学は哲学か、科学か

##### 《C会場（7A106 講義室）》(15:30-18:00)

司会：1-2 和泉 悠（南山大学）、3-5 伊勢田 哲治（京都大学）

1. 駒田 珠希（北海道大学）・・・Hare の指令主義における言語行為論的適切性について
2. 須田 悠基（東洋大学）・・・行為プロセスとの関係性から〈同意〉の種類を区別する
3. 太田 雅子（東洋大学）・・・知りたくない動機がある —人と知識の複雑な関係—
4. 野上 志学（三重大学）・・・B タイプ不整合を用いる表出主義意味論再考
5. 清末 もも（九州大学）・・・進化倫理学における経験的研究と機能を用いた説明の可能性